

## 京都府立嵯峨野高等学校の発表

### 提言①

#### 自治体・先生へ

子供とスマホの関わり方について、親に研修を実施する

#### ➡小、中、高と子供の発達にあった内容

スマホを初めて持ち始める小学生の親に重点的に



### 事前学習会を終えて思ったこと

- ・他の学校の人でも自分達と同じようなスマホやネットの悩みを抱えていることを知ることができて安心した。
- ・スマホのデメリットだけでなく利点も含めて話し合うことができた。
- ・スマホは使い方を工夫すると、多くの利益を得ることができると確認できた。
- ・同世代の人と話し合う中で正直な感想を述べることができ、より学生のリアルに近い議論ができた。

### 自治体と先生への提言

子供とスマホの関わり方について、親に研修を実施する

### 提言の趣旨

- ・小学、中学、高校と子供の発達に合わせた内容の研修を実施
- ・スマホを初めて持ち始める、小学生の保護者への研修に重点を置くことにより、幼い頃から利用方法について家庭内で話しやすくなり、親子でネットへの理解の促進に繋がると思う。

### 自治体への提言

SNSの活用により政治や社会問題をもっと身近なものにしてほしい

## 提言の趣旨

- ・選挙権が得られる年齢が18歳に引き下げられた。
- ・このため高校生でも政治に参画する意識をもつ必要がある。
- ・授業などでも勉強はするが、若者が政治問題に実感を持つことが現状では難しいので、関心を持ちやすくするために、政策などの説明をSNSで分かりやすく発信してほしい。
- ・これにより若者が、政治問題や社会問題に当事者意識を持てるようになれば良いと思う。

## 自分達への提言

スマホに使われない、目標を達成するためのツールとして上手に活用する

## 提言の趣旨

- ・スマホはすごく便利なもので、使い方次第では無限の可能性を秘めていると思う。
- ・しかし、ニュースなどでは悪いことがピックアップされているが、これは使い方が悪いことが多いからで、上手に使うためには自分の意識だけでは限界があるので、スマホを手元に置かないとか、使いすぎるアプリをアンインストールするなど物理的に使えないようにすることが必要だと思う。

## 最後に

- ・権利を主張する代わりにルールを守る  
権利を主張することは義務が発生するということを理解することが必要
- ・スマホやネットなど問題の当事者になる意識を持つ  
スマホやネットの問題は身近にあるという意識を持つことが必要
- ・親や先生などと思っていることを話し合ってみる  
事前学習会で、同年代の人と話し合うことで新しい発見があったので、これを親や先生とも話し合ったら、より良い意見が出ると思う。

